

## 盛地申4号「2019年3月ダイヤ改正」に関する申し入れ交渉

### 1. 女性休養室、トイレ及び浴室の整備について昨年からの進捗状況を明らかにすること。

その1

**回答** 女性設備についてはこれまでも配属状況等を勘案したうえで整備してきたところであり今後も必要性を検討しつつ整備していく考えである。

#### 組合

昨年以降の進捗状況、来年度の計画を教えてください。

#### 会社

盛岡車両センターにシャワー室3室、八戸運輸区女性休養室の拡大、青森運輸区女性休養室3室、蟹田乗務員宿泊所へ女性休養室5室整備してきた。来年度計画は盛岡車両センター洗浄作業庫女性用トイレ、盛岡新幹線車両センター駅検査班女性ロッカー室を新設する考えである

女性社員の乗務員職場への配属は増加しているのか、減少しているのか。

年々増加傾向である。可能であれば整備していくが運輸に限らず優先順位をつけながら行っている。

全ての系統で増えているのはわかるがそれ以上に増加傾向であり割合が増えている。優先順位の認識が違っているのではないか。

喫緊の必要性、予算、施工能力を勘案し優先順位をつけて行っている。すべての系統含め女性設備の整備していく必要性は認識している。割合も少なくはないという認識である。

地本として「乗務員勤務制度が新しくなり働きやすい環境を作ることが謳われている中で安全を確保するため女性乗務員の増加に伴い乗務員宿泊所設備の整備を求めている」事を訴えてきました。特に北上の乗務員宿泊所の女性設備の問題について休養の適正など支障をきたしているという女性組合員の声を訴え、安全を確保するための休養設備の整備であり、安全に対する投資である事を主張してきました。北上の状況についての課題認識は会社も同じであるということを確認し、そのうえで優先順位のつけ方も含めて今後も声を聞きながら行っていく事を確認しました。

**女性配属割合が増加するなかで休養のとれる環境整備の必要性を確認!**

### 2. 運転士養成について車種毎・職場毎の養成計画と教導の人数を明らかにすること。また、実態に見合った要員を確保すること。

**回答** 2019年度の運転士養成数については、EC新規24名程度、TEC転換6名程度、DC転換33名程度を検討しているところである。なお、必要な要員は確保しているところである。

地本として各区所の養成計画人数を明らかにすると共に指操縦者の指定のあり方について会社に迫ってきました。新規養成の見習いが指導操縦者不足によってスケジュール通り見極め等が出来ていない職場実態を訴え指導操縦者の数を増やす事を主張してきました。会社は「指導操縦者の指定数は総合研修センターより他支社に比べてまだ多いという指摘もある中で要請数の約2倍の指定している。必要な人数は確保している」という認識を示しました。それに対し、地方の特情を踏まえる事や職場の現実把握する為に現場と意見交換していくことを確認してきました。また、指導操縦者の指定について組合色で差別・区別していることは「絶対にない」事を確認しました。

**現場と意見交換をしていくこと、組合色差別は無いことを確認!!**

つづく